

健康経営戦略マップ

作成年：2025年9月

健康投資

生活習慣病対策

・特定保健指導の実施(40歳未満も含む)
・各種健診費用補助
・スタンディングデスク等健康増進器具の設置
・健康社食の設置・野菜配布会の実施

運動習慣対策

・スニーカー通勤奨励
・スポーツクラブ利用補助
・ウォーキング対抗戦(&well)、インセンティブの付与
・クラブ活動への費用補助
・身体コンディショニング、運動指導イベントの実施

ヘルスリテラシー向上策

・健康セミナーの実施(&well)
・社内での各種研修実施、メルマガ等による情報発信
・ヘルスデータバンクによる健康状態の確認
・常備薬の社内設置

禁煙フォロー施策

・医師による禁煙セミナーの実施
・禁煙フォローアッププログラムの実施
・全社禁煙デーの設定
・禁煙外来受診費用補助

メンタルヘルス対策

・ストレスチェックの実施&高ストレス者のフォロー面談
・ラインケア研修の実施
・人事ヒアリング・ヘルプラインの設置
・産業医による健康相談・メンタルヘルスカウンセリング
・休職者の長期復職サポート&ファミリーヘルスクアサポート

社内コミュニケーション促進策
働き方改革の推進

・社内SNS(slack)の導入
・社内コミュニケーションイベントの定期開催
・適正な労働時間の管理徹底、PCシャットダウン
・在宅勤務制度・有給休暇取得奨励促進策

従業員の健康課題

喫煙習慣者比率

BMI不適正者比率
(肥満・痩せ)

血圧
要医療者・予備群比率

食習慣
適正者比率

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標

健康診断(人間ドック)受診率 100%
スニーカー通勤実施率
禁煙プログラム参加者数
&wellアクティブユーザー率

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

健康診断再検査受診率の向上
特定保健指導実施率の向上
良い運動習慣者比率の向上
良い食事習慣者比率の向上
特定保健指導対象者率の減少
睡眠十分者比率の向上
ヘルスリテラシーの向上
労働時間の減少
年次有給休暇取得率の向上(80%以上を維持)
ストレスチェック「総合健康リスク指数」の維持・向上
休職者・離職者の減少

健康関連の最終的な目標指標

生産性向上
・アブセンティーズムの低減
・プレゼンティーズムの低減
ワークエンゲージメントの向上
喫煙習慣者比率の低減

健康経営の浸透状況

経営トップからの推進方針や目標の発信
担当役員の設置
健康経営理解・実施度調査

方針実現のための体制・環境

担当役員・推進責任者の設置
外部専門家(健康経営コンサル)の活用
経営層での議論など、企業横断的な健康経営の検討・実施
健康風土の醸成

サポート、組織的支援(POS)、WSC等

健康アプリの利用促進
ストレスチェックでのWSCの測定

目標年：2030年

KGI

アブセンティーズム1.0%以下
プレゼンティーズム90ポイント以上
ワークエンゲージメント3.9ポイント以上(5段階評価)
喫煙習慣者比率10%以下

健康経営の目標

社員一人ひとりの心身の健康
組織の活性化(ダイバーシティ&インクルージョン)
心理的安全性の高い組織づくり(インクルージョン風土の醸成)
互いを尊重して生き生きと働き、個性・能力の発揮ができる環境

健康経営の推進方針

多様な人材(社員)が持てる力を最大限発揮するために、社員一人ひとりが心身ともに健康であることを目指す。

経営方針

高品質なプロパティマネジメントを通じて、魅力ある賃貸住宅のあり方を創造し、快適な都市の住まいを実現する。

社会的価値

魅力ある賃貸住宅のあり方を創造する

企業価値

組織力の向上・活性化
業績・売上の向上

POSとは、「自分は会社から支えられている」と従業員が感じている度合いを表す指標。
WSCとは、職場における信頼関係や助け合いの風土を表す指標。